

ひびき

Vol.2

森まさき

後援会会報

編集・発行

森まさき後援会

TEL0859-39-3190

Fax0859-39-3191

〒689-3537

米子市古豊千 304

新会派

『協働クラブ』

を結成しました

二〇〇四年二月一日をもって、新会派「協働クラブ」を結成しました。

後援会の皆様には、日ごろのご支持ご支援に厚くお礼申し上げます。また、この件の報道等で大変ご心配をおかけし、心からお詫び申し上げます。

新聞等でご案内のとおり、この二月一日をもって、左記の理念の下に、伊藤ひろえ議員、門脇邦子議員とともに、新会派「協働クラブ」を結成いたしました。

名称

「協働クラブ」

(市民との協働で市政を創造していくことを示す)

理念

- 住民参画を推進し、真の市民自治を実現する
- 情報公開と説明責任を果たし、市民と情報を共有する
- 公平公正な政策を立案し、提言する
- 市民の目線では々非々の立場をまっとうする
- 首長と議会それぞれの役割を認識し、議会の活性化を実現する

メンバー

会長 長 森 雅幹
 幹事長 門脇邦子
 政調会長 伊藤ひろえ
 今後とものご理解とご指導いただきますようお願いいたします。

これまでの経過

これまで9ヶ月間会派「新風」の名の下に「良識ある政策集団」を目指し、政党、政治理念、信条、考え方等を取り越えて、10人の会派として活動をともにしてきました。しかし、「医療法人有真会の委託料不正流用疑惑」事件の議会の取り扱いをめぐる、①「市長の設置した調査委員会の結果（流用した金を返せば刑事責任は問わない）を尊重する」と②「100条委員会を設置して徹底説明する」の立場に分かれました。①を主張する議員も「この事件は限りなく灰色で黒に近い。しかし、100条委員会を設置しても説明できるかどうか分からない。だから、100条委員会は設置する必要はない。」とっています。

自治体議会は国会と違って、議院内閣制ではありません。首長、議員それぞれが選挙をめぐり、それぞれの役割が求められています。議会は市民の声を代弁し、市長の政策チェック、政策提言の役割を持っています。今回は、このチェック機能を發揮することができかどうか問われていました。米子市議会は、近年私の知る限り、議案否決や議案修正などを行ったことがありません。言わば、市長

の提案は何でも受け入れ可決してきたといえます。現在も問題とされている「崎津工業団地」、「米子駅前地下駐車場」、「流通業務団地」問題など、議会のチェックが機能していれば、現在の本市の危機的な財政状況も無かつたのではないかと考えます。

私は、このチェック機能を發揮するため会派の中で②「100条委員会を設置して徹底説明する」を主張したのですが、7対3で①の意見が多数となりました。12月議会の最終日、議員提案で100条委員会の設置議案が提出され、結果的に私を含め3名がこの議案に起立賛成をし、この取り扱いをめぐって対立が深まり上記3人が会派を離脱することに至ったものです。

以上
 (※100条委員会…地方自治法に定める議会へ調査権を付与するもの。ウソの証言には偽証罪の適用もある。)

目次

新会派結成	1
9月議会報告	2
12月議会報告	3
合併協議会報告	4
追伸	
編集後記	

9月議会

9月議会の質問について抜粋を報告します。
会期：9月10日～26日

<質問>

1. 財政運営について

- ア) 現在の財政状況についてどのように認識しているのか？
- イ) この財政状況悪化の原因は何と分析しているのか？
- ウ) 財政を立て直すために、中期財政見直しを立て、施策の優先選択が必要ではないか？
- エ) また、財政運営を行っていくうえで、中期ないし長期財政見直しを立て、市民に公表するとともに財政運営計画を立てる必要があるのではないか？

<答弁>

1. 市長（財政運営について）

- ア) 本市の財政状況は予想以上に厳しいものがある。財政の健全化を緊急的課題と定め財政健全化策を早急に構築する必要があると考えている。一般会計で686億6000万円に対し約40分の1の、特別会計で499億9000万円について下水道、農業集落排水事業を対象に約50分の1の交付税参入措置がある。
- イ) 経済環境、国の財政政策等の外部的要因、本市に起因する内部的要因があろうが、ちょっと背伸びをしすぎた面もあったのではないかと。当然、多角的な検証・分析は実施する必要があると考える。
- ウ) 今後ともメリハリを付けた行政執行、財政運営を行って参りたい。
- エ) 年内には中期財政見直しも含めた仮称「財政健全化プラン」を策定するよう関係部署に指示した。これは、市民の皆様公表するつもりである。

My Opinion

背伸びをしすぎたのではないかと考えているという答弁でした。私もそのことが大きく響いているのではないかと考えている一人です。

助役は専門家として、「財政指標を見れば決して極端に悪いということではない、特徴的なのは資金繰りの面、いわゆる収支不足が起こっている。」という分析を示しました。米子市財政の一番の特徴は、財政支出の中で利子の支出が非常に多いことにあります。現在この支出の割合が全国の市の中で一番悪いのです。

そこで、今回の財政状況を変えていく場合、職員の人件費割合も避けて通れなくなっています。ですが、米子市の場合、他都市と比べて職員数が大変少ない状況になっています。その人件費割合は全国670の都市の中で、低いほうから3番目に低くなっています。こうしたことから、見直しを、人件費のみに矮小化しては、問題は解決しません。今後の財政再建をやっていくにあたっては、全体的な事業を含めて見直しをすることが必要です。

また、事業の優先選択過程を市民に公開しながら、開かれた財政運営をしていく必要があり、そのために、優先選択の基準や県が行っているような「予算策定過程」の公開が必要と考えます。

<質問>

2. 住民参加の市政運営について

市長の基本姿勢「市民参加の市政運営」での具体策は何を執行したのか？今後、何をどう具体化するのか？

具体策が示されなかったため、市長就任後4ヶ月を経たいま、再度市長の施政方針での基本姿勢1番の『市民参加の市政運営』での具体策はこれまで何を執行したのか？今後、どういった具体策を実施するのか？

市民参加の体制・仕掛け、装置というか、ひとつのルールをそれぞれの部署に当てはめていくということが必要だと思いがどうか？

<答弁>

2. 市長（住民参加の市政運営について）

市長へのEメールによる提案の開設、広報誌等での市の窓口連絡先の表示、住民参画によるまちづくりの支援、都市計画マスタープランのより市民の声を取り入れた策定等取り組んできた。

現在の行政改革実施計画のメニューの一つになっている市民参画の方法を示した指針をはじめとして、実施計画のより一層の具体化を進めながら、それぞれの分野の施策事業そしてそれを支える市役所の体制財政のあり方を検討し、実現できるものについては、可能な限り来年度予算・組織体制に市民参加を反映していきたい。

市民参画の指標を示した指針は策定すべく、現在作業を進めているところであり、それを市民参加のひとつの方策として、各部署に徹底したい。

12月議会 12月議会の質問について抜粋を報告します。

会期：12月8日～24日

A 職員の人材育成について

財政難の中で満足な行政サービスを行うには、そのための職員の資質が必須。職員に対し目指す職員像を明示し共有化した上で、必要な能力を引き出すよう育成することが求められる。市長の方針を問う。

＜答弁に対し＞ 職員は市民と行政機構・法律との間を取り持つコーディネータであり、じっくり聞き、しっかりと話すことが求められる。コミュニケーション能力を伸ばすことも求める。

B 市民サービス重視の行政組織・機構について

①市民の皆様が市役所に来られたときに、現実問題として、いわゆる「たらいまわし」をされ、必要な手続きをするのに窓口を何箇所も回らされ、その都度、一から説明させられた、という事例が起こっている。市民の皆様は市役所の組織機構を全くご存知ない。一方、職員の側は、市民の相談を「自分の部署に関係することなのか」という視点で聞く傾向にあること、他部署の事務について把握していないため、最後まで話を聞かずに他部署に回し、また一から市民の方から説明を求める、ということがある。そこで、私は、何でも相談できる総合窓口の設置が必要と考えるがどうか。

②市民の皆様の手続、相談事は、内容によっては、市役所の幾つかの課にまたがっている場合がある。高齢者が死亡された場合、市民課、保険課、長寿社会課、福祉課と、四つの課にわたって手続が必要になる場合があり、それぞれの課で手続をしなければならない。また、農用地を転用して家を建てる場合では、農政課、農業委員会、都市計画課、建築指導室で、それぞれ手続が必要となる。私は、現状では、関係する課同士の連絡が十分になされていないと思う

そこで、私は、幾つかの課にまたがる問題については、1か所で相談すれば、関係するすべての課での問題が解決するといういわゆる「ワンストップサービス」を導入すべきと考えるがどうか。

③「横の連携」については、文書で指示するだけでなく、組織的なものをつくりながら、常に連携させていく必要があると思うがどうか。

C 介護保険認定率について

米子は介護認定率が他都市と比較して高いのでは。ケアマネ間のレベル差の解消と資質向上策など保険者としての方策、また、更新通知方法の変更での対策は？

A 全体の奉仕者としての自覚、社会の変化に対応するべく意欲と情熱を持ち、職員の持てる能力を最大限引き出せるよう人材育成にあたりたい。対人、実務、自己変革、奉仕者精神などが必要な能力だと考える。

B ①住民の皆様に対するサービス向上が、どのような方法により効果的にできるのか、全庁的な事務量調査を踏まえ、検討してみたい。

②当然、組織的な整備を図る必要もあるが、個々の事例によってかなり異なる内容を、どこか一つのところで処理することができるのかという問題もある当面は、複数の課にまたがる手続については、各課の横の連携を図り、市民の皆様に対して、どのような手続が必要なのか周知するよう努めて参りたい。

③手続が複雑な場合、その関係課をどのようにして市民の皆様に分かっていただけるようにするのか、これは検討させてみたい。

C 鳥取・松江と比べ2～3%認定率が高いが、制度が周知され利用者が多いことなどが要因。更新はケアマネ中心に切り替える。今後は防止策、保健事業、ケアマネの資質向上にむけ方策を強化し、地域重視で努めたい。

合併協議会の状況

淀江町との合併協議会では、現在までに九回の旧議会を開催し、全協定項目の三割程度が決定しています。また、新市建設計画の構想部分である新市将来構想の案ができ、一月にはシンポジウム、二月には新市将来構想案の説明会が開催される予定となっています。

決定された主な協定項目

- 1、合併の方式
新設合併（対等合併）
 - 3、新市の名称
公募は終了し、候補を5程度に絞る段階
『米子』は応募数圧倒的多
 - 4、新市の事務所の位置
現米子市役所の位置を
 - 10、地域審議会の設置
淀江町の区域に地域審議会を置く（市長に対し、新市建設計画の着実な進行を求める等）
 - 24、新市建設計画
新市のまちづくりの基本方針で、現在構想部分の新市将来構想案が作成済み
- 等ですが、今後、合併協議の順番を迎えます。

議員定数および任期の取り扱いが焦点に

原則は、法定上限定数34人以内で定数を定めて、市長と同じように、合併日より50日以内に選挙することとなっています。現在、継続協議中ですが、3月には結論を出すことになっています。

協議会では、淀江町議会選出の委員四人のうち三人の委員より在任特例を求める発言が出ていますが、学識推薦の委員は大半が選挙すべきとの意見です。

問題は、米子市議会で、高年齢の議員を中心にして「在任特例（現在の議員が合併の日から最長2年間新市の議員として「選挙をしないで」在任する）」を求める議員が増えていくということです。

そこで在任特例を求める議員の主張ですが、①淀江町との合併を成就するためには在任特例しかない（淀江町には合併に反対する議員がいる。その議員を押さえ込むには在任特例が必要）。

②在任特例でも議員報酬を高いほうに合わせると住民の反発があるだろうが、現在のそれぞれの報酬（米子市議50万円淀江町議22万円）を維持すれば住民は理解してくれる。

③定数特例を使うためには、米子選挙区・淀江選挙区の定数を定める必要があるが、それを議論する時間がない。という淀江町側を慮った表向きの理由ですが、真実はかなり違うのではないかと、いわゆる保身に当たっている議員がかなりいるのではないかと思っています。

私は次のように考えています。

①法定数（34人）で人口比（米子・淀江14..1）からすれば淀江町からは2人程度になりますが、現在の16人からのあまりにも大きな変化に淀江町の皆さんの不安はおおきいと考えます。

②不安を避けるために在任特例を選択すれば、議会費用が嵩む。在任は長くとも2年間となっており、最高で予算を2回審議できるだけです。2年後には議員数が一気に2人程度になることで、不安解消にはつながりません。

③在任特例により、市長選挙と議員の選挙を別々にすることににより、選挙費用が、4年ごとに7100万円多くなると、今後永遠に続くことになる。

④他の特別職は全て合併時に失職するのにもかかわらず、国が認めた特例とはいえ、議員だけ職を継

続するのは理解しにくい。以上の理由から

「合併時に市長選挙に併せて議員も選挙するべき（同日選挙をすることで選挙費用半減）。定数特例を実施し、1回に限り米子選挙区・淀江町選挙区を設け、それぞれ30人、4〜6人の定数とする。特例後は1選挙区とし定数は32人（法定上限数34人）とする」と考えています。皆さんのご意見をお願いします。

追伸

これまで合併協議会委員として、協議会で発言させていただきました。新会派（協働クラブ）発足に伴い、米子市議会内の党派構成が変わったことにより協議会委員を交代することになりました。

3月7日（日）の協議会が最後になります。残念ですが、これからは1議員として市民協働の市政を目指し、合併問題等に発言して行こうと考えています。今後ともご指導お願いいたします。

編集後記

後援会報の名前が正式に「ひびき」と決まりました。末永くご愛顧いただきますようお願いいたします。